

新型コロナ3度目の夏...ペット業界は規制もなく、逆に動物に癒しを求める人も多い日々…。それでもフード、薬の値上げが次々と、うっかり頭の中にまだ残っている数字で計算し損なう日々。皆さんはいかがお過ごしですか？

秋にセミナー付きZoom総会を10月23日に行いますので、是非ご参加下さいね。皆さんに会える日を楽しみにしています。

〈ZOOMミニセミナー〉について

今年も「Zoomで総会」。下記の日時・内容で行います。詳細が決まり次第アナウンスメールを送ります。メールアドレスの登録をされていない方は、下記のアドレス宛にご氏名・ご所属・住所・電話番号などをお送り下さいませ。

Mail : 2021hatsumeiken@gmail.com

昨年、ZOOMセミナー案内をメールで受け取った方は大丈夫ですが、昨年からのメールアドレスの変更があった方は、お手数ですが新しいメールアドレスからご連絡を頂けますと助かります。よろしく御願い致します。

日時：2022年10月23日

午後8:00~10:00(予定)

プログラム

1. 開会あいさつ・総会報告
2. 参加者のミニ自己紹介
3. セミナー
4. 懇談



▷ 『できる！ウサギの麻酔』 沖田将人（アレス動物医療センター）

犬猫病院の先生でも問題なく実施できる麻酔の方法、当院が実施している地味でこまごましたテクニックをお話します。特殊な機器、技術が必要なく、リスクが極めて低い全身麻酔です。

▷ 『獣医は十医』 木村章子先生（ふう動物病院）

コンベンショナルな療法・ホリスティック療法を合わせた統合医療を行うなかで、気づきや魅力をお話しさせていただきます。

▷ 『すぐ見つかる簡単データ保存』 清水邦一（清水動物病院）

EvernoteとScanSnapを利用した安心な情報管理。小さなメモから重要な情報まで、すべてを失わないようにどんどん保存。簡単にとり出せる情報整理、見つける方法です。

【自己紹介】

上田 広之 先生

アース動物病院・北見市



病院の紹介

1988年に北海道オホーツク北見市で開業して35年になります。アース動物病院の上田と申します。帯広畜産大学を修了しました。6年制獣医師の一期生になります。卒業後は薬品会社、公衆衛生公務員を経験し、小動物診療に入りました。初めは獣医師2名スタッフ1～2名。お金もなく色々工夫しながら診療をしてきたのを思い出します。地元の仲間と症例検討会ルンルクラブを作り、失敗症例を中心に勉強会を30年以上続けています。そろそろ承継をする時期となりましたが、もう少し頑張ろうと思いますのでよろしくお願いいたします。



過去の発明

北見市では北見工業大学があり、医師会を中心に大学を応援する医工連携研究会があります。獣医師会もメンバーになり、勉強会・発表会をやっています。25年ぐらい前になりますが、手術しながら、レントゲンを撮るステンレス台を作成しました。大学や地元の板金屋さんで知恵を絞って作りました。残念ながらコストがかかりすぎ世の中に出ることはありませんでした。大変丈夫なものを作っていただきましたので、今も椎間板ヘルニアや骨折の手術の時に使っています。

これからやっていきたいこと

具体的なことはありませんが、小動物臨床は10gから80kgぐらいの動物たちを対象にしていますので、現場での創意工夫が必要な場面に多々遭遇します。そこに対応するためには経験ですとか、アイデアの引き出しがどれだけあるかだと思います。発明研究会の皆様からたくさん学びインプットしていきたいと思います。またアウトプットもできればと思います。

また、愛玩動物看護師たちがチーム診療の大きな担い手として活躍する時代が来ました。目の前の小さな命に寄り添い、飼い主さんに寄り添うためにはどんな工夫が必要かも一緒に考えていきたいと思っています。

趣味

山登り、マラソン、サイクリングをぼちぼちやっています。スケッチもやれる時間を作りたいと思っている62歳の新入会員ですが、よろしくお願いいたします。

【自己紹介】

上田 謙吾 先生

フォーゲル動物病院・神戸市



プロフィール 1993年 北里大学卒業

2001年 フォーゲル動物病院開院

病院の紹介 鳥類とウサギなどのエキゾチックアニマルの診療が中心の病院です。最近ではミニブタや山羊などの家畜系も興味の対象です。

ポリシー こつこつする

過去の発明、アイデア 特にありません。

失敗談 さまざま失敗してきているがあんまり覚えてない。

1, 電気メスで顔面の手術をしてたら引火して猫のひげが焦げた

2, ウサギの膀胱結石で朝レントゲンで膀胱内の結石を確認し、預かって昼から手術の予定でラビットゲージ内にも出た様子なく手術の段取り中、麻酔してなんとなくレントゲンとったら結石がなく大慌て、ごみ箱に牧草や便と一緒に捨てられていた。もうすこしでおなかをあけてしまうところだった。それ以降恐怖症になり飼育ケージ内になくても必ず麻酔直前にレントゲンはとることにしている。たった2時間でも状況はかわる恐ろしさをした。

3, 誤食で消化管内異物の小腸切開手術後の入院中の犬に輸液チューブを食べられたことがあり青ざめたが再手術することなく便に自然に排出された。

4. 昔、凶暴なアライグマの避妊手術して夜帰宅しようとしたら直超脱を起こして確認し夜中に再手術、直腸固定をしたことがある。

これからやりたいこと、取り組んでいる事

現在情報の少ないエキゾチック動物に関する腫瘍を研究し論文にまとめる事

発明研究会の皆様へ伝えたいこと

いつも皆様のさまざまな内容の発明を参考に利用させていただいております。

今後ともご指導よろしくお願いいたします。

発明研究会で自分がやりたいこと発表したいこと

費用をかけずにだれでもできるようなことを増やしたい

新入会員

・阿妻 則道氏：(株)OPUS (オーパス)
(国分寺市)

・上田 謙吾先生：フォーゲル動物病院
(神戸市)

～獣医師の眼から見た水族館の魅力（第1回:アクアマリンふくしま）～

第一三共ケミカルファーマ株式会社 獣医師 伊藤 隆

前回は、「日立市かみね動物園」をご紹介させていただきました。

今回は、私の単身赴任先である福島県いわき市の水族館「アクアマリンふくしま」を訪問いたしました。アクアマリンふくしまに勤務されている展示第2グループ上席獣医技師である平 治隆先生（写真1）にインタビューをさせていただきました。

①獣医師から見たアクアマリンふくしまの見どころ、魅力は何ですか？

当館は、イルカのショーなどを実施しておらず、観光を目的とした水族館ではないことです。福島県の生涯学習を目的として設立された水族館であり、教育庁が主幹しています。小学生などを対象とした教育も行っており、「移動水族館」であるAquaravan（写真2）を利用した教育も実施しています。

私が環境対応型の水族館であるアクアマリンふくしまを訪問した際に、一番印象的だったのは、メイン水槽である「潮目【親潮（寒流）と黒潮（暖流）がぶつかる】の大水槽」の前に、なんとお寿司屋さんがあることです。「魚の資源量について考えるきっかけになれば」とつくられたそうで、泳いでいる魚を眺めながらお寿司が食べられるという、なんともレアな体験ができる水族館です（写真3,4,5）。また、アクアマリンふくしまの建物は曲線的に設計されており、従来、箱型タイプの水族館が多い中で、周辺的环境に溶け込んでいるのがとても印象的でした（写真6）。



写真1 平先生（左）と筆者（右）



写真2 移動水族館「Aquaravan」



写真3 メイン水槽である潮目の大水槽

②水族館における水棲動物の診療で感動された点あるいは苦労された点は何ですか？

感動した点は、2007年大きな水棲動物であるトドの出産に立ち会えた事です。また、今まで繁殖が成功したことがない魚であったナメダング（写真7）やアバチャン（深海魚：写真8）を繁殖できた事です。アバチャンの繁殖については、世界で初めて人工授精に成功したのはアクアマリンふくしまが初めてとの事です。

苦労した点は、何といても2011年3月11日の震災で多くの水棲動物が亡くなってしまったことです。平先生ご自身も震災の際に、繁殖に成功したナメダングを福島ではなく、千葉のご実家で育てたというご苦労があったとのこと。毎日気をつけていることは、できる限り病気にならないように予防を中心として活動していることです。病気になるために1年に1回血液検査などを実施して、水棲動物の健康管理を実施しています。

上皮系の疾病が疑われるときや、外傷時には第一選択でペニシリン系を使っています。原因菌が不明な場合は広域スペクトルを持つニューキノロン剤をファーストチョイスとして使用することもあり、症状を悪化させないなどの対応を図っています。そういう意味では私の仕事は95%が飼育管理で5%が治療になります。



写真4 寿司処 潮目の海



写真5 お寿司を食べながら魚の鑑賞



写真6 アクアマリンふくしまの全景



写真7 繁殖に成功したナメダング



写真8 世界で初めて人工授精に成功したアバチャン

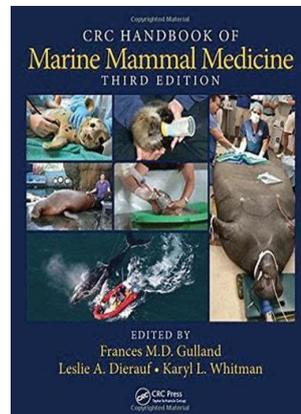


写真9 (上段) 海外の水棲動物に関する治療本

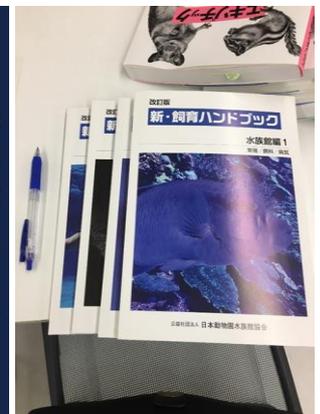


写真10 (下段) 日本動物園水族館協会から出版

③水族館で飼育されている動物の治療や飼育を実施する上で参考とされているものは何ですか？

海外本では、「CRC Handbook of Marine Mammal Medicine」です。

この本は、初版が1990年、第2版が2001年に発刊しており、第3版が、最新版で2018年（写真9）に発刊されています。できれば、日本語版が出版されたら良いと考えております。国内においては、日本動物園水族館協会から発刊されている「新・飼育ハンドブック」（写真10）などを参考にしております。当館では、鳥などのエキゾチック動物も飼育しているのでエキゾチック動物の治療についても勉強しています。本以外の情報では、金沢動物園やサンシャイン水族館など様々な動物園や水族館の獣医に聞いたり情報交換を日々行っています。

④水族館が加盟あるいは参加される国内外の協会あるいは会議はどんなものがあるでしょうか？

日本では、日本動物園水族館協会があります。海外では、2018年11月にアクアマリンふくしまで開催されました世界水族館会議 (International Aquarium Congress : IAC) があります。IACは4年に1回開催され、アクアマリンふくしまで開催された時には35カ国から約500名が参加したとのこと。また、多くの水族館の獣医が加盟している学会は日本野生動物医学会があります。

⑤今後診療上、開発して欲しい医療器具、水棲動物の為の薬剤あるいは剤形は何ですか？

主に3つのリクエストがあります。

- ・1番目は、高濃度品の抗生剤が欲しいです。水棲動物の治療をする際には、大型水棲動物は保定が不可能なので、吹き矢等で治療する際に投与可能な量は10mLが限界です。例えばトドなどは、雄の体重が750Kg~1トン、アザラシは120Kgとなるので高濃度品でない限り投与量である10mLに対応できないからです。もし、可能ならば投与量が少なく、コンベニア注(犬・猫用で販売されているセファロスポリン系の注射剤で14日間効果が持続する)やテラマイLAなどのOne Shotで長期持続型の抗菌剤があれば大変便利です。
- ・2番目は、無色透明な薬剤を要望いたします。水族館は魚や水棲動物を展示しているの、薬剤投与により水槽の水が着色してしまうのはまずいからです。
- ・3番目は小容量包装の製品開発を希望いたします。例えば、最小購入発注単位の包装が20kg(家畜用)だと量が多すぎて余ってしまうからです。
- ・医療器具については自分達で作成できるので特に必要ありませんが、富士平工業で販売されていた吹き矢の針が販売中止になったことが残念です。
- ・ワクチンとしては、アザラシの発疹の原因となるヘルペスウイルスに対するワクチンがあれば良いと思います。現在、ラクトフェリンを使用して発症を抑制しております。

⑥水族館の獣医として就職を希望している獣医の学生へのアドバイスあるいは学生時代に準備しておきたいことは何ですか？

特に獣医学科で所属研究室が基礎系、臨床系はあまり関係ありません。もし、可能ならば大学4年~5年くらいに水族館実習を希望された方が良いでしょう。また、水族館に就職を希望される場合は、他の水族館でなく何故希望の水族館でなければならない理由を明確にしていることも重要かと思われます。自分の希望する水族館の獣医さんに直接コンタクトするくらいの情熱があっても良いと思います。

⑦編集後記

今回、アクアマリンふくしまを訪問し、平先生とのインタビューの中で世界動物園水族館協会(WAZA)会議において今後、水族館においてイルカなどのショーを実施しないとの方向性が打ち出されたとのこと。日本の水族館も世界的なトレンドの中で、どのような方向性を打ち出していくかを、取材を通して自分なりに見届けて行きたいと思っています。

山本コウタローさんを偲んで 伊藤悦子 (動物ライター)

山本コウタローさんが2022年7月4日に亡くなりました。実は私、小学生から中学生にかけて、山本コウタローさんと彼が率いるウィークエンドというバンドの熱狂的なファンでした。しかもコウタローさんとは、個人的に交流があったのです。当時、たまたま家が近所であったため私が勇気を出して声をかけたことがきっかけで始まった交流でした。

コウタローさんは、常に笑顔で対応する人だったことが印象的です。しかも、まだほんの子どもである私の友人関係や勉強、将来の悩みも、いつも本当に真剣に聞いてくれました。そして必ずまっすぐ目を見て真剣に答えてくれたのです。そのためか、コウタローさんの言葉は今も私の心に刻まれています。

多感な時期に、たくさんの楽しい音楽を聞かせてもらったことも、私がずっと音楽を続けている理由の一つです。発明研究会の皆様アイデアもそうですが、小さなきっかけや思い、出会いを一つ一つ何かの形にしていくことで人生がずっと豊かになると実感しています。



動物医療発明研究会のホームページできています。登録もできます。

会員の病院・施設名、〒、住所、TEL、FAX、ホームページURLを掲載します。

ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP掲載希望」と明記して、下記のメールにお願いします。

hp@ispecial.co.jp (株)アイ・スペシャル運営受託

ワンコのつぶやき

今日の散歩は、
足の裏がやわらかで、
気持ち良い。
所々に棒がニョキニョキ、
チョツと咬んで見た。
まずい！
でも次々と引っぱってみる。
遊ぶにはおもしろい。
でもまずい。

佐藤剛
(三郷市佐藤犬猫病院)



SAMI NEWS 62号

発行日 2022年8月

発行所 動物医療発明研究会事務局

発行人 会長 清水 邦一

事務局 230-0061横浜市鶴見区佃野町3-3

清水動物病院内 清水宏子

TEL(045)583-3738 FAX(045)583-3594